

にけーしよん



12/19~20 ハンドベルの音色・愛南の魚に感動!

松山東雲中学・高等学校ハンドベル部の皆さんが愛南町を訪れ、2日にわたって演奏会を行いました。初日の山出憩いの里温泉ではクリスマスソングを、翌日の特別養護老人ホーム自在園では童謡を、それぞれ音階が違う約40個ものハンドベルを使い分け、素晴らしい音色の演奏を総勢16名により披露しました。演奏会のあと、「ぎょしょく教育」に参加して鯛の塩釜を作って試食し、「きれいだった魚が食べられるようになった」、「愛南町の魚はおいしい」と満足していました。

12/18 花と元気のプレゼント!

町城辺赤十字奉仕団(委員長 濱 孝子さん)の皆さんが、城辺地域で緊急通報装置を設置した独居高齢者46名を訪れ、シクラメンの鉢植えを贈りました。この事業は独居高齢者の安否確認を行い、花と共に元気を届けることを目的に、毎年実施しています。



12/21 みんなの願い、どのように活かされるのだろう!

赤水小学校の6年生4名が御荘B&G海洋センターと役場本庁を見学し、役場の業務や議会の役割、また、みんなの願いがどのように行政に活かされるのかを学びました。このほか御荘文化センターや篠山自然学習館などの公共施設についての理解も深めました。

1/7 七草がゆ食べて、今年も元気に!

城辺の諏訪神社で、無病息災を祈願する「七草がゆ」が今年初めて参拝者などに振舞われました。同神社総代会の女性部が材料を持ち寄り、直径70cmの大鍋で作られた熱々の七草がゆを、参拝者たちは境内に用意された席に腰かけ、フーッと息をかけて冷ましながら、おいしそうに口に運んでいました。



愛南こみゆ



12/4 正木の 花とり踊り

正木の花とり踊りは、旧暦10月18日に篠山(現在は歓喜光寺権現堂)、歓喜光寺、旧庄屋蕨岡家で踊られる県指定無形民俗文化財です。南予の一部と高知県一円で踊られている太刀踊りの一種で、正木の花とり踊りは最も古い形を残しているといわれています。

古風ないでたちで太刀や鎌を持ち、鉦と太鼓に合わせて踊ります。地区住民やカメラマンなど多くの見物客が古式ゆかしい踊りを鑑賞しました。

12/10 とべ!夢ひこうき

内海中学校体育館で、内海地域3世代交流事業として「ほっと計画委員会(代表 河野 満さん)」主催による「劇団風の子公演 とべ!夢ひこうき」が開催され、内海地域の小中学生をはじめ、保護者や老人クラブ、婦人会など約200名が、体育館いっぱいを使った大きな舞台の芝居を楽しみました。



12/17 難しい!伝統の技

西海中学校2年の福山 舟です。職場体験学習で役場の広報係として、城辺小学校の体育館で行われた、しめ縄作りを取材しました。



福山 舟くん
(西海中2年)

城辺公民館主催の「城辺世代間しめ縄づくり教室」は、ふるさとの伝統文化を学び敬老の心を育てようと毎年行われています。約70名の5、6年生は班ごとに分かれ、最初は悪戦苦闘しながら作っていましたが、城辺高齢者学級のお年寄りの方々に教えてもらい、会話も弾んで楽しみながら作ってました。次の時代は子どもたちが、伝統を守っていってくれることでしょう。

お年寄りとの交流を深めながら、伝統的文化を学ぶことのできる良い機会だったと思います。

